

非常信号灯

とっても安心
とっても簡単

LED発光の非常信号灯

非常信号灯(スタンダード) 品番:KS-100E3 / 非常信号灯(ライト付き) 品番:KS-100L3

有効期限

LEDなら継続使用OK!



発炎筒の有効期限が4年で切れてしまうのに対して、非常信号灯は**電池交換で継続的に使用**することができます。繰り返し何度も使えるのでとってもお得でエコ!

持続性

連続20時間点灯!



発炎筒は5分間で燃え尽きてしまうのに対して、非常信号灯は**連続20時間点灯**※し続けて事故処理が終わるまで長時間にわたって危険を知らせることができます。

※新品アルカリ乾電池使用時

節電特性

電池長持ち設計!



スイッチOFF状態時は、常に回路と乾電池が分断されるため、回路による**乾電池消費はゼロ**。

(※但し、乾電池の保管状況によって乾電池の自然放電消費が早くなる場合がありますので定期的な作動確認を推奨します)

視認性

夜間もハッキリ目立つ!



国土交通省の基準をクリアした**保安基準適合品**として、夜間200メートル手前からもしっかりと確認できる優れた視認性。自動車メーカーに純正部品としても採用されています。

簡単な設置・回収

マグネット設置!



本体底面の強力マグネットで車両ボディに着脱できるので、**設置・回収が簡単で安全**。強風にも強く、雨でも安心してお使いいただけます。

〈*生活防水IPX3相当合格品〉

その他の用途

自動車以外でも活躍!



自動車以外でも、夜間における愛犬の散歩やランニング、自転車走行、キャンプなど、**様々な用途で安全性を高めるため**にお使いいただけます。

- 非常信号用具は、車両に搭載され使用可能な状態でしょうか?
- 二次災害に備えて常に使用できるか確認し、自分を守る意識を高めましょう。
- 非常信号灯の作動及び発炎筒の消費期限の確認は、定期的に行いましょう。
- 非常信号灯は、発炎筒の代替品として使用出来ます。
- 非常信号灯と発炎筒を併用することで、更なる安全確保を提案いたします。

取扱い店

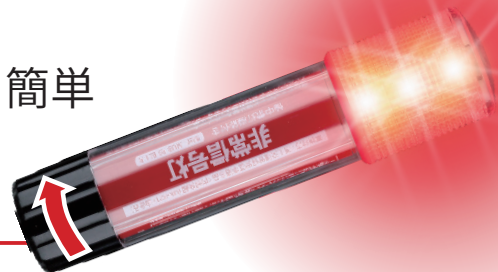
非常信号灯

使用方法

使い方はとっても簡単

メインスイッチを反時計回りにひねるだけ!

非常信号灯 ライト無し / ライト付き 両モデル共通



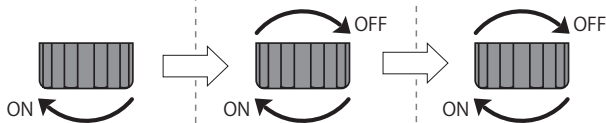
ライト付き非常信号灯の使い方

◀ステップアップ切り替えスイッチ▶

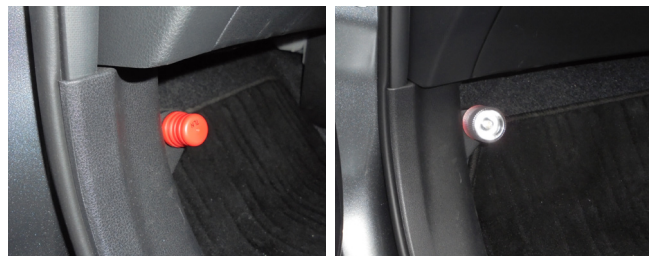
メインスイッチをひねって ON ◀ - ▶ OFF の動作を繰り返すことで [赤色(点滅)] → [赤色(点灯)] → [白色(ライト灯)] の順に切り替わります。



1. メインスイッチを ON ◀ の方向に回転
LED (赤色) が点滅
2. メインスイッチを ▶ OFF、再度 ON ◀ にすると LED (赤色) が点灯
3. 繰り返しメインスイッチを ▶ OFF、ON ◀ でライト (白色) が点灯



保管場所 (自動車室内)



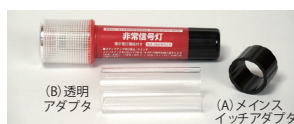
助手席の足下などにある既存の発炎筒ホルダーに設置保管することもできます。発炎筒に加えて追加装備する際には、グローブボックス、小物入れなどを活用して保管してください。



3-WAY ボディ構造



1. そのままの状態で使用でボディ直径32mm

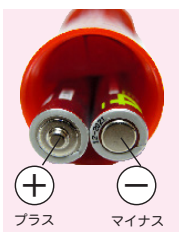


2. メインスイッチアダプタと透明アダプタを取り外せばボディ直径27mm



3. 上記2.の状態からLED点滅部分が偏心に回転し、ボディに平らな部分ができてホルダーの形状に合わせることが可能です。

乾電池の交換と取扱い



1. 本体底部のメインスイッチ(黒色部分)を反時計回りに取り外してください。
2. 乾電池を本体に記載している向きを確認して挿入してください。
3. メインスイッチを締め付け、点灯動作を確認してください。

- 乾電池は単4型2本を使用し、プラス・マイナスを正しく入れてください。
- 乾電池を交換する際には、必ず2本とも交換してください。
- 乾電池の有効期限を必ずご確認ください。

⚠ 注意・使用上のお願い

- 本体を分解したり、強い衝撃を与えないでください。〈*耐衝撃性能試験: 1メートルから自然落下試験合格〉
- 本体底部の設置マグネットで車体に傷が生じる恐れがあります。着脱時に車体にこすらないようご注意ください。
- 乾電池の液漏れおよび点灯動作確認を定期的(※約1ヶ月に1回を目安)に行ってください。
- 本体の回転を何度も繰り返したり、逆方向に回さないでください。本体内部の配線がねじれて故障の原因となります。

※本製品を改造して使用された場合の事故について、当社は一切責任を負いません。

※仕様および外観などは、改良のため予告なく変更する場合があります。